

疼痛管理における オピオイド鎮痛薬の 責任ある医療使用に関する ムンディファーマの憲章

疼痛管理におけるオピオイド鎮痛薬の 責任ある医療使用に関するムンディファーマの憲章



オピオイド鎮痛薬は、医療従事者が患者さんの疼痛を適切に治療するうえで、重要な選択肢となり得ます。このような医療上の必要性にもかかわらず、ムンディファーマは、オピオイド処方薬の使用には、誤用、乱用、依存（オピオイド使用障害：OUD）、流用などのリスクが伴うことも認識しています。医療現場で使用されるオピオイド鎮痛薬を適切に、かつ責任をもって販売する企業として、このようなリスクを軽減し、医療従事者が、本当に必要としている患者さんを治療できるよう、そのサポートに全力を尽くしています。

オピオイド鎮痛薬の処方には、個々の患者さんの状況や既往歴を慎重に考慮し、十分な鎮痛作用とオピオイド治療に伴うリスクや副作用とのバランスを考慮する必要があります。オピオイド鎮痛薬による継続的な治療が医療上必要であるか確認し、このような薬剤を継続的に使用する場合には、必要最低量を処方し、投与期間が臨床的に適切な期間より長くなるように、医療従事者による定期的かつ慎重なモニタリングが不可欠となります。

ムンディファーマは、医療従事者への適切な医療情報の提供、責任ある販売・マーケティング活動、安全なサプライチェーンを通じて、オピオイド治療のリスク軽減に取り組んでいます。

このコミットメントの一環として、ムンディファーマは以下を実行しています。

1. オピオイド医薬品の適切な開発、製造、流通、販売促進に関する国内外の法律、規制、ガイドラインを厳格に遵守し、当社の製品管理委員会は、これらの法律、規制、ガイドラインに基づき、倫理的な枠組みを提供します。
2. オピオイド鎮痛薬に関する正確かつバランスのとれた、科学的に立証済みの情報（関連するリスクや副作用の情報を含む）を医療従事者に提供します。これにより、医療従事者が個々の患者さんに対するオピオイド治療のリスクとベネフィットを評価する際のサポートとなることを目的としています。
3. 非がん性の慢性疼痛治療において、強オピオイドに関する医療教育の促進、提供、支援を行いません*。非がん性の慢性疼痛に対する強オピオイド使用について問い合わせがあった場合は、医療従事者からの要請がある場合のみ、当社のメディカル部門より情報を提供します。
4. オピオイド鎮痛薬の適応外使用を促進したり依頼したりすることはありません。
5. オピオイド鎮痛薬に関し、医療従事者と関わりを持つ全社員に対するコンプライアンスおよび医療トレーニングの義務付けなど、当社のすべての活動および資料について、適用される法律や規範に従った厳格な全社的な管理体制を維持します。また、ムンディファーマの全社員には、その役割に関係なく、オピオイドに関する意識向上トレーニングの受講が義務付けられています。
6. 定期的な監査およびモニタリングを通し、管理体制の有効性を評価します。
7. 流用や紛失のリスクを低減するためサプライチェーンを評価・監査し、効果的な報告、監視、調査、是正・予防措置計画を通じてサプライチェーンの安全性を継続的に向上させます。
8. 報復の恐れを感じることなく誰もが問題や懸念を報告することができ、すべての報告が迅速に調査され、指摘された違反が適切な措置によって確実に対処されるよう、当社のインテグリティラインを推進し、積極的に運営します。

* 7日間の低用量経皮吸収型
ブレンロフィンテープを除く。

ムンディファーマは、高い倫理観と法的基準を遵守することを約束します。懸念やご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

ブライアン・シーハン
最高科学責任者

brian.sheehan@
mundipharma-rd.eu

または、
[ムンディファーマインテグリティライン](#)までご連絡ください

[報道関係者の方は、下記へご連絡ください](#)

レスリー・ファーガソン・
ホワイト
コミュニケーション部門
シニアバイスプレジデント

lesley.ferguson-white@
mundipharma.com